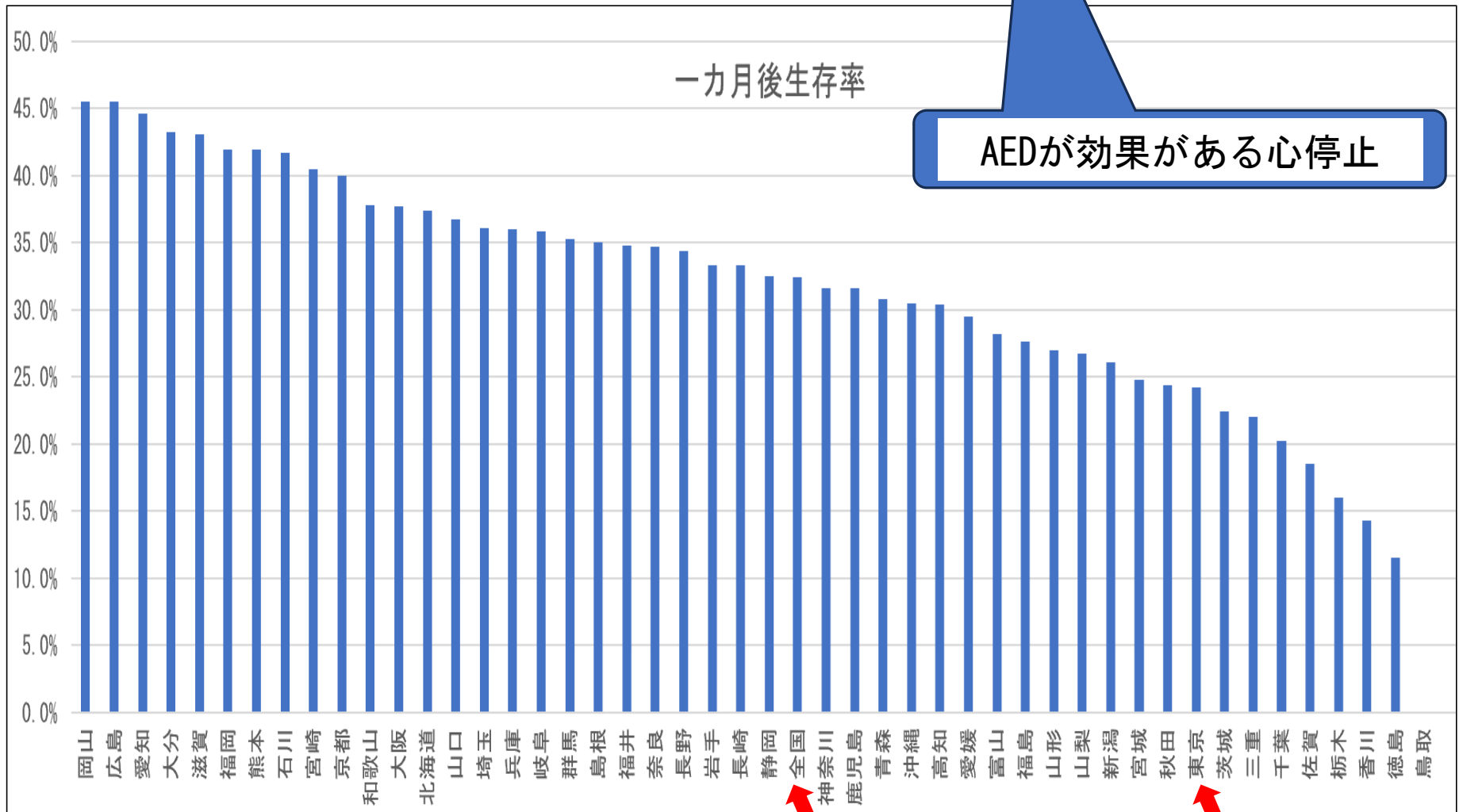


令和3年都道府県別目撃ありのVF/VT生存率

令和4年版
救急・救助の現況から編集

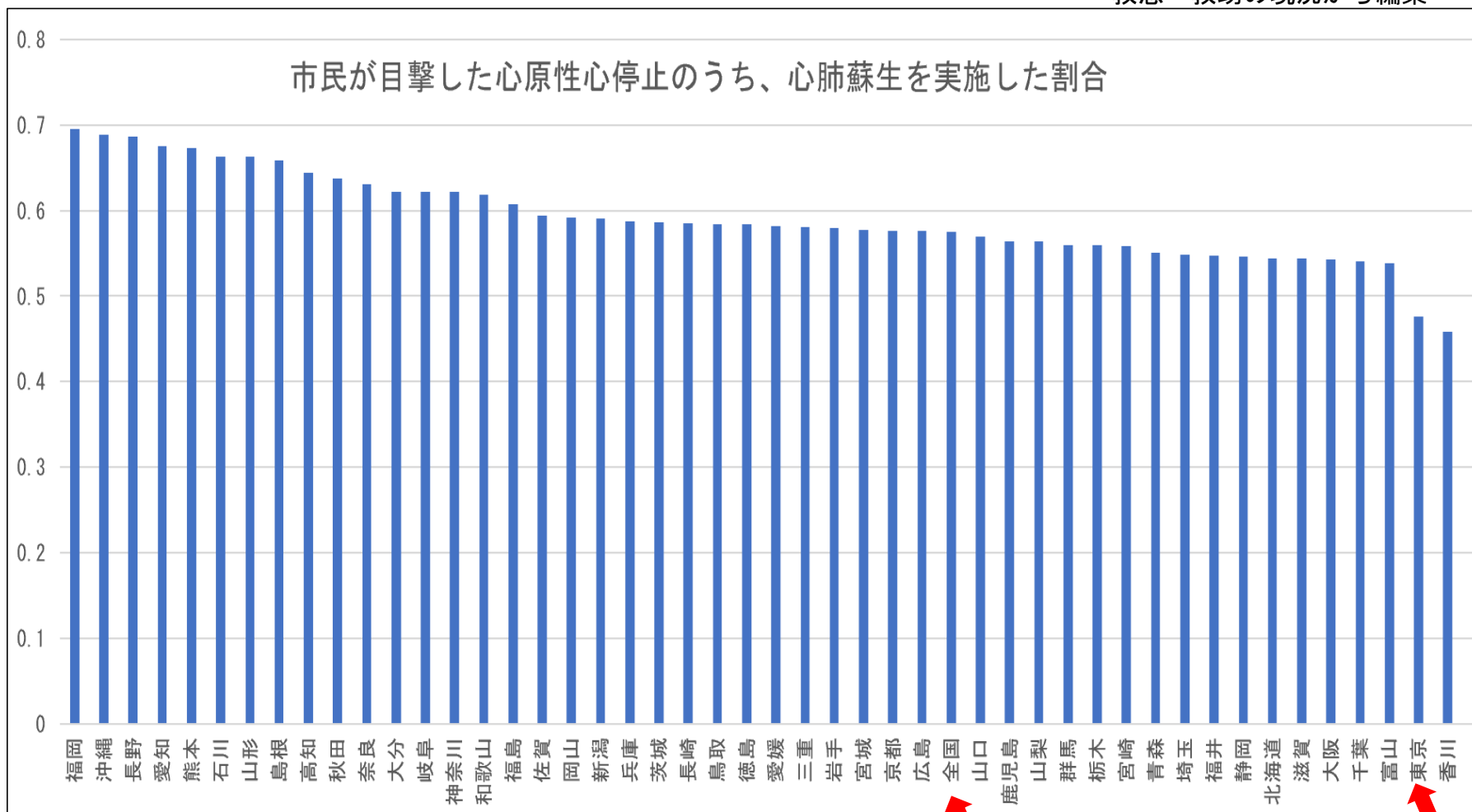
一カ月後生存率

AEDが効果がある心停止



令和3年都道府県別市民が目撃した心原性心停止のうち、心肺蘇生を実施した割合

令和4年版
救急・救助の現況から編集



市民目撃があり、かつバイスタンダーが除細動処置を実施した際の一か月生存率 (救急活動の現況 令和3年(2021年) 東京消防庁 令和4年刊行)

	搬送人員	目撃－除細動 平均時間	心拍 再開数	心拍 再開率	1か月 生存数	1か月 生存率
全除細動事案	1,502	－	406	27.0%	315	21.0%
実施者 ＝ バイスタンダー及び隊員等	104	－	28	26.9%	27	26.0%
うち市民目撃	80	5分23秒	23	28.8%	24	30.0%
実施者 ＝ バイスタンダーのみ	171	－	100	58.5%	77	45.0%
うち市民目撃	134	5分15秒	87	64.9%	68	50.7%
実施者 ＝ 隊員等のみ	1,227	－	278	22.7%	211	17.2%
うち隊員目撃	141	3分10秒	78	55.3%	58	41.1%
うち市民目撃	773	15分40秒	168	21.7%	128	16.6%
うち初期心電図＝心室細動等	488	11分47秒	116	23.8%	107	21.9%

市民目撃があり、かつバイスタンダーのみが除細動処置を実施した場合は、収容前心拍再開率が64.9%、1か月生存率が50.7%と、高い比率になっています。

一方、市民目撃があったもののバイスタンダーによる除細動がなく、救急隊員等が最初の除細動施行者となった場合は、収容前心拍再開率が23.8%、1か月生存率が21.9%と、バイスタンダーによる除細動施行事案と比較して低い比率となっています。

市民目撃があり、かつバイスタンダーが除細動処置を実施した際の一か月生存率
 (救急活動の現況 令和4年(2022年) 東京消防庁 令和5年刊行)

	搬送人員	目撃－除細動 平均時間	心拍 再開数	心拍 再開率	1 か月 生存数	1 か月 生存率
全除細動事案	1,596	－	422	26.4%	319	20.0%
実施者 ＝ バイスタンダー及び隊員等	138	－	43	31.2%	35	25.4%
うち市民目撃	107	7 分 27 秒	36	33.6%	32	29.9%
実施者 ＝ バイスタンダーのみ	220	－	129	58.6%	108	49.1%
うち市民目撃	163	5 分 35 秒	109	66.9%	94	57.7%
実施者 ＝ 隊員等のみ	1,238	－	250	20.2%	176	14.2%
うち隊員目撃	197	4 分 15 秒	95	48.2%	74	37.6%
うち市民目撃	704	16 分 45 秒	128	18.2%	88	12.5%
うち初期心電図＝心室細動等	387	12 分 54 秒	76	19.6%	70	18.1%

令和3年都道府県別目撃ありのVF/VT生存率

令和4年版
救急・救助の現況から編集

